

# リゾート地・沖縄を もっと知ろう・・・ -爆音の中に住む住民の怒り-

基地問題 連続講演会 第1回

日時 10月18日(日)午後2時開演 (午後1時開場)

講師 又吉清喜 (新嘉手納基地爆音訴訟副会長)

会場 日野市勤労・青年会館(下図参照)

同時上映 映画「教えられなかった戦争・沖縄編」

(午後1時上映開始)

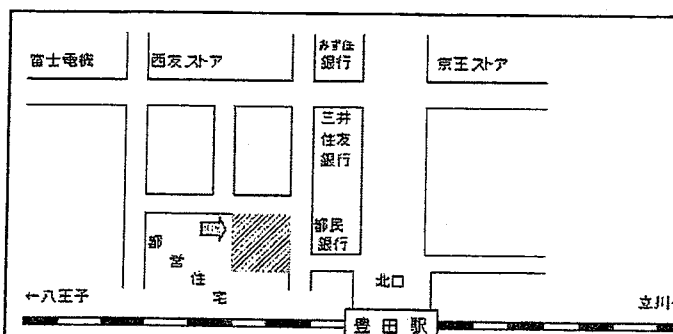
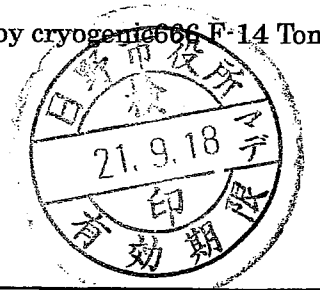
参加費用 無料

第2回 2010年1月17日(日)『あの美ら海・辺野古が消える』  
安次富浩・海上ヘリ基地反対協議会代表  
同時上映『辺野古の闘いの記録』

第3回 2010年3月14日(日)『沖縄県民の心を語る』  
糸数慶子・参議院議員  
同時上映『人魚の棲む海』

〈第2回以降は、いずれも日時は予定、会場は未定です〉

Photo by cryogenic666 F-14 Tomcat



JR中央線豊田駅北口下車 徒歩1分

※車でのご案内はご遠慮ください。

日野市勤労・青年会館 電話 042-586-6251

＜お問い合わせ＞

〒191-0011 日野市日野本町 3-13-16

NPO法人 日野・市民自治研究所

9条と基地を考える研究会

TEL&FAX : 042-589-2106

## 「沖縄講演会のご案内」

### 九条と基地を考える研究会

沖縄戦では連合軍の本土上陸を延ばすために総力戦となり、多くの住民が犠牲になりました。敗戦後は米軍の占領下で基地闘争で苦しんできました。1972年の日本復帰後も安全保障条約に基づいて基地は継続され、苦しみは少しも変わりません。現在更に辺野古に新基地がつくられようとしています。なんのための基地なのでしょう。憲法九条のもとでこんなことが許されるのでしょうか。

沖縄の問題を現地の人から直接お聞きしたいと思い、3回シリーズで講演会を企画しました。ぜひともご参加ください

### 「戦後64年、復帰して37年経過した今日でも尚続く基地の恒常化と被害」

又吉清喜

沖縄は、琉球王朝時代から、武器のない武器を持たない守礼の邦として、その歴史と文化を刻んできた。その沖縄が、今や基地の島と呼ばれているのが現状です。

沖縄は、地理的、歴史的観点や言語学上からも日本国民であり、日本民族の一員であるにもかかわらず、依然として国政上差別され続け、他の都道府県同様に同一国家として同一民族として日本国憲法に定められた法の下での平等が、何時沖縄に該当されるか待ち望んでいるものです。

空は米軍の管理下、海は訓練水域が多く県民が自由に使えない。また県土は、日本本土の僅か0.6%足りない小さな島にもかかわらず、在日米軍基地の約75%が居座っている現状をみるに、沖縄はまるで戦時下のようです。

私は一県民として、いや日本国民の一人として、平和な沖縄を取り戻すため、色々な角度からがんばっている者ですが、他府県の方々が、あまりにも沖縄のことについて知らなさ過ぎる感じを受けたことから、あらゆる機会を通じて沖縄の現状について訴えています。

今回、機会があり、日野・市民自治研究所の呼びかけに感謝をし、若輩者ではありますが沖縄の歴史、社会観、生活の中から訴えたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。